

日本国特許庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

J1040 U.S. PRO
09/821344
03/29/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日
Date of Application:

2000年 4月20日

出願番号
Application Number:

特願2000-119994

出願人
Applicant(s):

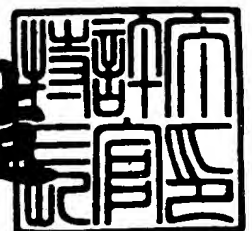
オリンパス光学工業株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年 3月 2日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕造



【書類名】 特許願

【整理番号】 A000001456

【提出日】 平成12年 4月20日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 G03B 17/00
B65B 1/00

【発明の名称】 製品仕様変更システム

【請求項の数】 6

【発明者】

【住所又は居所】 東京都渋谷区幡ヶ谷 2 丁目 4 3 番 2 号 オリンパス光学
工業株式会社内

【氏名】 伊藤 順一

【特許出願人】

【識別番号】 000000376

【氏名又は名称】 オリンパス光学工業株式会社

【代理人】

【識別番号】 100058479

【弁理士】

【氏名又は名称】 鈴江 武彦

【電話番号】 03-3502-3181

【選任した代理人】

【識別番号】 100084618

【弁理士】

【氏名又は名称】 村松 貞男

【選任した代理人】

【識別番号】 100068814

【弁理士】

【氏名又は名称】 坪井 淳

【選任した代理人】

【識別番号】 100100952

【弁理士】

【氏名又は名称】 風間 鉄也

【選任した代理人】

【識別番号】 100097559

【弁理士】

【氏名又は名称】 水野 浩司

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 011567

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9602409

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 製品仕様変更システム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 製品を購入することにより入手可能であって、該製品を所望の仕様に変更するための情報を作成する情報作成シートに基づき、ユーザが該製品の仕様変更に関する仕様変更情報を作成し、この仕様変更情報に基づいて該製品の仕様を変更することを特徴とする製品仕様変更システム。

【請求項 2】 製品を購入することにより入手可能であって、該製品を所望の仕様に変更するための情報を作成する情報作成シートに基づき、ユーザが該製品の仕様変更に関する仕様変更情報を作成する情報作成ステップと、

上記情報作成ステップにより作成された上記仕様変更情報に基づき、該製品の仕様を変更する仕様変更ステップと、

を具備することを特徴とする製品仕様変更システム。

【請求項 3】 上記製品はカメラであり、上記仕様変更情報はカメラ外装の塗装または印刷を指示する情報、カメラ外装の形状変更を指示する情報、又は、カメラの制御動作の変更を指示する情報のうち少なくとも一つを含むことを特徴とする、請求項 1 または請求項 2 のいずれか一項に記載の製品仕様変更システム。

【請求項 4】 上記情報作成シートには、仕様変更の内容を記憶した記憶手段を有することを特徴とする、請求項 1 または請求項 2 のいずれか一項に記載の製品仕様変更システム。

【請求項 5】 仕様変更可能な電子機器の製造方法において、

電子機器を製造し、

上記電子機器の仕様を変更するための情報を作成する情報作成シートと共に上記電子機器を出荷し、

上記電子機器を入手した顧客が作成した情報作成シートと共に返送された上記電子機器を受け取り、

上記情報作成シートの内容を読み取り、

上記情報作成シートの内容に応じて、返送された上記電子機器の仕様を変更す

る工程を実施し、

仕様変更された上記電子機器を顧客に向けて出荷する、
ことを特徴とする仕様変更可能な電子機器の製造方法。

【請求項 6】 仕様変更可能な電子機器の注文方法において、

上記電子機器の仕様を変更するための情報を作成する情報作成シートと共に上記電子機器を購入し、

上記情報作成シートに記載されている内容を基に、変更を希望する仕様を上記情報作成シートに記載し、

記載した上記情報作成シートと共に上記電子機器を電子機器メーカーに送り、

上記情報作成シートに基づいて上記電子機器メーカーで仕様変更された上記電子機器を受け取る、

ことを特徴とする仕様変更可能な電子機器の注文方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ユーザが希望する仕様へ電子機器（例えばカメラ）の仕様を変更する方法またはそのシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】

従来、例えばカメラのような製品では、この製品を購入するユーザの好みを予測してその製品の仕様（形状や色、機能など）を決定している。これらの仕様は通常、ユーザの好みの最大公約数になるように設定している。

近年、製品を購入したユーザ個々の希望に応じて製品の仕様変更（以下、カスタマイズ、カスタメイド（custom-made）と称す）をするための方法やそのためのシステムが既に存在している。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、製品を購入するユーザの嗜好がますます多様化し、メーカーが設定した最大公約数の仕様に満足出来ないユーザもいる。

製品を購入するユーザの希望の仕様が細分化していくなか、最大公約数を担った仕様に満足出来ないユーザの希望をかなえるために、予かじめ多品種の製品を製造することもむずかしい。何故ならば、特定のユーザに合わせた製品を作るとは、1つの製品の製造台数が減ることになり、製造コストが上昇するからである。これは最大公約数を担った仕様で満足できるユーザにとっては、都合が悪い。しかし一方で、自分の希望の仕様に合う製品（カスタム製品）が必要であることも事実である。

【0004】

最近では、インターネットを利用して、ユーザの好みに合わせた仕様の製品を発注するシステムが存在する。例えば二輪車の発注において、カウル、フレーム、タンクなどの色を指定して発注するシステムをもつメーカーが存在する。本出願人の属する会社でも、仕様を設定するプログラムをカメラと共に販売することが提案されている。

ただし、ユーザのなかには、パーソナルコンピュータ（パソコン）が必要になったり、あるいは煩雑な操作をして仕様設定を行なうことを嫌う者も存在する。

【0005】

そこで本発明はこのような現状に鑑みて成されたものであり、その目的は、パソコンを所有していないユーザあるいは、パソコンの扱いが不慣れなユーザであっても、カメラ等の電子機器製品の仕様変更が簡単にできるような仕様変更システムを提示することにある。

【0006】

【問題点を解決するための手段】

上記課題を解決し目的を達成するため、本発明では次のような手段を講じている。即ち本発明の仕様変更システムにおいては、製品を購入したユーザが、自分の希望に合わせた仕様変更の情報を作成可能な情報作成シートを入手でき、ユーザはこのシートを利用して仕様変更を指示する情報を作成し、このシートと製品を製造メーカーへ送ると、その製造メーカーは、そのシートに書かれた仕様変更情報に基づいて製品の仕様変更（カスタメイド）を行なって、そのユーザに返送する。

【 0 0 0 7 】

第 1 の発明としては、製品を購入することにより入手可能であって該製品を所望の仕様に変更するための情報を作成する情報作成シートに基づき、ユーザが該製品の仕様変更に関する仕様変更情報を作成し、この仕様変更情報に基づいて該製品の仕様を変更する製品仕様変更システムを提案する。

第 2 の発明としては、製品を購入することにより入手可能であって該製品を所望の仕様に変更するための情報を作成する情報作成シートに基づき、ユーザが該製品の仕様変更に関する仕様変更情報を作成する情報作成ステップと、この情報作成ステップにより作成された上記仕様変更情報に基づき、上記製品の仕様を変更する仕様変更ステップと、を備えたことを特徴とする製品仕様変更システムを提案する。

【 0 0 0 8 】

なお、上記製品はカメラであり、上記仕様変更情報はカメラ外装の塗装または印刷を指示する情報、カメラ外装の形状変更を指示する情報、カメラの制御動作の変更を指示する情報のうち少なくとも一つを含むことを特徴とする上記した第 1 又は第 2 の発明のいずれかに記載の製品仕様変更システムである。

また、上記情報作成シートには、仕様変更の内容を記憶した記憶手段を有することを特徴とする第 1 又は第 2 の発明のいずれかに記載の製品仕様変更システムである。

【 0 0 0 9 】

第 3 の発明としては、仕様変更可能な電子機器の製造方法において、電子機器を製造し、上記電子機器の仕様を変更するための情報を作成する情報作成シートと共に上記電子機器を出荷し、上記電子機器を入手した顧客が作成した情報作成シートと共に返送された上記電子機器を受け取り、情報作成シートの内容を読み取り、情報作成シートの内容に応じて、返送された電子機器の仕様を変更する工程を実施し、仕様変更された電子機器を顧客に向けて出荷することを特徴とする仕様変更可能な電子機器の製造方法を提案する。

【 0 0 1 0 】

さらに第 4 の発明としては、仕様変更可能な電子機器の注文方法において、上

記電子機器の仕様を変更するための情報を作成する情報作成シートと共に上記電子機器を購入し、上記情報作成シートに記載されている内容を基に、変更を希望する仕様を上記情報作成シートに記載し、記載した上記情報作成シートと共に上記電子機器を電子機器メーカーに送り、上記情報作成シートに基づいて電子機器メーカーで仕様変更された電子機器を受け取ることを特徴とする仕様変更可能な電子機器の注文方法を提案する。

【0011】

【発明の実施の形態】

以下に、実施形態を挙げて本発明の要旨について詳しく説明する。

(第1実施形態)

図1には、製品としてカメラの仕様変更システムの構成を概略的に示している。例示の製造メーカー4は、カメラボディ2の製造を行なう。そしてこのカメラボディ2の販売時には後述するカスタメイド(custom-made)シート3をユーザ6へ届けるため、カメラボディ2とこのカスタメイドシート3を同一パッケージ1に梱包する。カスタメイドシート3は、ユーザ6がカメラの仕様を変更する際に利用するものであり、このカスタメイドシート3は紙やプラスチック板などに所定のカスタメイド情報を印刷したものである。

【0012】

カメラボディ2とカスタメイドシート3が一体に梱包されたパッケージ1は、例えばカメラカスタメイドキットとしてカメラ販売店5へ卸される。このキットを購入したカメラのユーザ6は、カメラのデザインに対して変更を望むと仮定する。この時、カメラのユーザ6は、そのキットに含まれるカスタメイドシート3を利用することで、そのカメラデザイン等の変更を製造メーカー4へ指示するためのカスタメイド情報が作成できるようになっている。

【0013】

ステップ1は、ユーザ6によるカスタメイド情報の作成処理段階である。

カスタメイドシート3を利用して仮にユーザ6は4種類のデザインの中から所望のデザインのカメラにカスタマイズすることが選択できるものとする。

カスタメイドシート3上には、Aタイプ301、Bタイプ302、Cタイプ3

03、Dタイプ304の4種類のデザインが例示されている。また、各デザインのカメラへ仕様変更する際に必要な変更費用も記載されている（詳細は図2、図3参照）。

【0014】

カメラユーザ6は、選択したカメラタイプをシート3上のエリア305へ記入する。さらに、エリア306へ変更の費用を記入し、製造メーカ4へ支払う金額を算出する。このように、必要事項を記入したカスタメイドシート3が即ちカスタメイド情報である。

【0015】

ステップ2は、ユーザ6が製造メーカ4に対してカメラ2の仕様変更を依頼する段階である。カメラユーザ6はカスタメイドシート3とカメラボディ2を運送業者7へ依頼するか、郵便物として製造メーカへ回収トラックにて送る。もし、製造メーカ4のサービスステーション（又は販売店5）がユーザ6の家の近所に存在するならば、ユーザ6が自分で直接それをもって行くこともできる。さらにユーザ6は、製造メーカ4に対して仕様変更費用の支払いを行わなければならない。ユーザ6は仕様変更費用を製造メーカ4の指定銀行8の口座へ払い込む。

【0016】

ステップ3は、製造メーカ4によるカメラ2の仕様変更の工程である。

製造メーカ4は、仕様変更費用の入金を確認すると、送られてきたカスタメイドシート3に基づいて、そのカメラ2へ塗装することで外装のデザインが変更される。この塗装は、製造メーカ4の既存の製造工程を利用して実施される。

【0017】

ステップ4において、カスタメイドされたカメラボディ2は運送業者（配送トラック）9によりカメラユーザ6の家へ送り届けられる。あるいは、製造メーカ4のサービスステーション（又は販売店5）へ配送し、ユーザ6自身に取りに来てもらってもよい。

【0018】

このように、図1に例示されたカスタメイドシート3で変更可能な仕様は、

カメラ 2 の外装デザインのみであるが、これ以外にも変更できる仕様が存在すれば、ユーザ 6 はより好みに近いカメラが入手できることになり、都合がよい。

【 0 0 1 9 】

ここで、図 2 および図 3 に、本実施形態の改良されたカスタメイドシート 3 の部分をそれぞれ詳細に示す。このカスタメイドシート 3 において仕様変更可能な項目は、色のタイプ、模様のタイプ、形状のタイプ、プログラムタイプである。カスタメイドシート 3 上のエリア 2 0 0 には、選択可能な色タイプが示されている。例えば、エリア 2 0 1 には色タイプ A の仕様が示されている。

【 0 0 2 0 】

エリア 2 0 2 は、タイプ A が選択された時の塗装の見本を示す画像である。

エリア 2 0 3 は、タイプ A の塗装を行なうために必要な情報が記憶された領域である。例えば、バーコードのようなものであり、塗装の材料や配合などが記憶されている。製造メーカーはこのエリア 2 0 3 に記憶された情報に基づいてカメラボディの塗装を行なう。

【 0 0 2 1 】

エリア 2 0 4 には、ユーザが希望したタイプを記入するためのエリアである。

カスタメイドシート 3 上のエリア 2 1 0 には選択可能な模様のタイプが示されている。例えば、エリア 2 1 1 には模様タイプ B の仕様が示されている。

エリア 2 1 2 は、タイプ B が選択された時カメラボディに印刷される絵柄の画像が示されている。

【 0 0 2 2 】

エリア 2 1 3 の記録領域にはエリア 2 1 2 の画像を示した情報が記憶されている。この情報に基づいて製造メーカーは、カメラボディへ画像を印刷する。ユーザは選択したタイプをエリア 2 1 4 へ記入すればよい。

シート上のエリア 2 2 0 には、選択可能な形状タイプが示されている。例えば、エリア 2 2 1 にはグリップ形状タイプ C の仕様が示されている。

エリア 2 2 2 は、タイプ C が選択されたとき、カメラボディへ取り付けられるグリップの形状を示している。

【 0 0 2 3 】

記録領域としてのエリア 2 2 3 には、グリップの形状データが記録されている。製造メーカはこのデータに基づきグリップを成形し、カメラボディへ取り付ける。

【 0 0 2 4 】

エリア 2 2 4 は、選択したタイプを記入するための領域である。

シート上のエリア 2 3 0 には、選択可能なカメラの動作制御プログラムのタイプが示されている。例えばエリア 2 3 1 には、プログラム仕様タイプ A の内容が示されている。もしここでタイプ A を選択すると測光方式、測距方式、ストロボ制御方式が以下のように設定される。

【 0 0 2 5 】

すなわち、測光方式は「マルチパターン測光」に設定され、撮影領域の複数のポイントで輝度を測定し、カメラ側で最適な露光量を決定するようになる。

測距方式は「マルチパターン測距」が選択され、撮影領域の複数のポイントで測距動作を行なう。そして被写体が存在すると思われるポイントの測距データに基づいてカメラは撮影レンズの制御を行なうようになる。

また、ストロボ制御方式は、ストロボ充電優先方式である。被写体輝度が低く、ストロボの光が必要な時は、ストロボの発光が可能になるまで露出動作は実行されないようになる。

【 0 0 2 6 】

エリア 2 3 3 は選択したタイプを記入するためのエリアである。カメラユーザは、色のタイプ、模様のタイプ、形状のタイプ、プログラムのタイプから所望のタイプを 1 つあるいは、複数のタイプを組み合わせで選択できる。

カメラユーザは所望のタイプを選択後、仕様変更に必要な費用を算出してエリア 2 4 0 の領域に記入するように構成されている。

カスタメイドシートは紙やプラスチックなどが利用できる。そしてプラスチックを利用した時、仕様変更の情報が記録領域（例えばエリア 2 0 3）に電子回路を組み込むこともできる。

【 0 0 2 7 】

なお、文献：NATURE／VOL 393／18 JUNE 1998の「putting it on plastic」には、集積回路を完全にプラスチックだけで作成する試みが示されている。この周知技術を本発明に利用すれば、プラスチック製のシート上に様々な情報を記憶するメモリが形成できる。この技術を用いれば、バーコードなどでは記憶出来ない複雑かつ大量の情報もカスタメイドシート上に記憶することができる。

【0028】

(作用効果1)

このように、第1実施形態の仕様変更システムにおいては、製品(カメラ)を購入したユーザが、自分の希望に合わせた仕様変更の情報を作成可能な情報作成シートをパッケージ内から簡単に入手でき、ユーザはこの情報作成シートを利用すれば仕様を指示するための情報作成を変更事項の選択的な記入で行なえ、この情報作成シートと製品を製造メーカへ送ることで、製造メーカはその情報作成シートに書かれた仕様変更情報に基づいてその製品の仕様変更を行なった後、その仕様の変更が完了した製品をユーザに返送してくる。

よって、ユーザはパソコンの所有も操作も必要がなく、製品に付属された情報作成シートへの簡単な選択的記入と送付によって、容易にカメラなどの製品の仕様変更が可能となる。

【0029】

(第2実施形態)

前述の第1実施形態のシステム(図1)において、カスタメイドシート3はカメラボディと同一パッケージ1に梱包されているため、この方法では、カメラの仕様変更を希望しないユーザへもカスタメイドシート3が送られることになり、ムダになることもある。もし、仕様変更が必要なユーザのみにカスタメイドシート3が入手できる方法がほかに在れば、その方が望ましい。

そこで次に、図3に基づき本発明の第2実施形態について説明する。この形態の特徴は、上述したムダの排除を考慮したもので、第1実施形態のシステムの基本的部分を用いながら、カスタメイドシートの配布方法において改良を加えているものである。

【 0 0 3 0 】

すなわち、カメラ販売店 5 へ卸されるカスタマイズカメラキット 8 0 には、カメラボディ 8 1 と共にユーザ登録カード 8 2 が梱包されている。このキット 8 0 を購入したユーザ 6 は、カメラの仕様変更を希望するときユーザ登録カード 8 2 に所定の項目を記入して製造メーカ 4 へ郵送する。そしてこのユーザ登録カード 8 2 を受けた製造メーカ 4 は、カスタメイドシート 3 をユーザ 6 の家へ郵送する。もしユーザ 6 がインターネット 1 1 を利用できる場合は、カスタメイドシート 3 の郵送要求を製造メーカ 4 のホームページを経由して送ってもらえばよいし、或いはまた、ホームページから直接的にカスタメイドシート（シート様式）をプリントアウトして用いてもよい。

【 0 0 3 1 】

（作用効果 2）

このようなカスタメイドシートの配布方法によれば、もしパソコン操作ができるユーザであれば、インターネットを介して製造メーカのホームページにアクセスしてカスタメイドシートを速やかに入手できるので、カスタメイドシートを全てのキットにあらかじめ梱包しておく必要がない。よってその分、費用の節減となり得る。

【 0 0 3 2 】

なお、ユーザがパソコン利用者であるか否かの判断は、その製品を利用するユーザ層の種類（世代、性別、嗜好、パソコン関心度など、或いは製品のパソコンとの関連性など）から総合的に推察することができよう。したがって、このカスタメイドシートの配布方法は、ユーザのうちパソコン利用者が多数と思われる場合ほど良好な効果が得られる。

【 0 0 3 3 】

（変形例）

上述の実施形態は次のように変形実施してもよい。例示したシステムは、カメラの仕様変更のみの応用した限定されるものではなく、ユーザが購入可能な様々な電子機器に対しても応用可能である。例えばパソコンおよびその周辺機器などは第 2 実施形態がそのまま適用でき、更には注文の段階でカスタマイズ情報を作

成できるように改良してもよい。

【 0 0 3 4 】

また、カスタマイズ情報は、仕様項目ごとに所定の選択肢を設定し、これらから選択的に例えばチェックマークなどの記入だけで作成できるように工夫してもよい。

このほかにも、本発明の要旨を逸脱しない範囲で種々の変形実施が可能である。

【 0 0 3 5 】

以上、複数の形態に基づき説明したが、本明細書中には次の発明が含まれる。

(1) ユーザが製品としてのカメラを購入する際に、カスタメイドシートが同梱されてくるカメラ仕様変更システムにおいて、

ユーザが上記カスタメイドシートを利用して、所望のカスタマイズ情報を作成し、当該カメラと共に工場へ送るステップと、

上記工場が、上記カスタマイズ情報に基づき当該カメラの仕様を変更した後、そのカメラを当該ユーザへ返送するステップと、

を具備することを特徴とするカメラ仕様変更システムを提供できる。

【 0 0 3 6 】

(2) 上記カスタマイズ情報は、上記製品のカラーリング、機能またはプログラムの少なくとも1つを変更するように指示する情報であることを特徴とする

(1)に記載のカメラ仕様変更システムである。

(3) 上記カスタメイドシートは、上記カスタマイズ情報を所定の選択肢から所望により選択的にマークして作成することを特徴とする(1)に記載のカメラ仕様変更システムである。

【 0 0 3 7 】

【発明の効果】

本発明によれば、パソコンを所有していないユーザあるいは、パソコンの扱いが不慣れなユーザであっても、カメラ等の製品の仕様変更が簡単にできる製品仕様変更システムを提供することが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

図 1 は、本発明のカメラ仕様変更システム（製品仕様変更システム）の全体構成を示すシステム概要図。

【図 2】

図 2 は、本発明の製品仕様変更システムに係わるカスタメイドシートの一部を示す概要図。

【図 3】

図 3 は、図 2 に続く同じカスタメイドシートの一部を示す概要図。

【図 4】

図 4 は、改良したカスタメイドシートの配布方法を説明するための製品仕様変更システムの概要図。

【符号の説明】

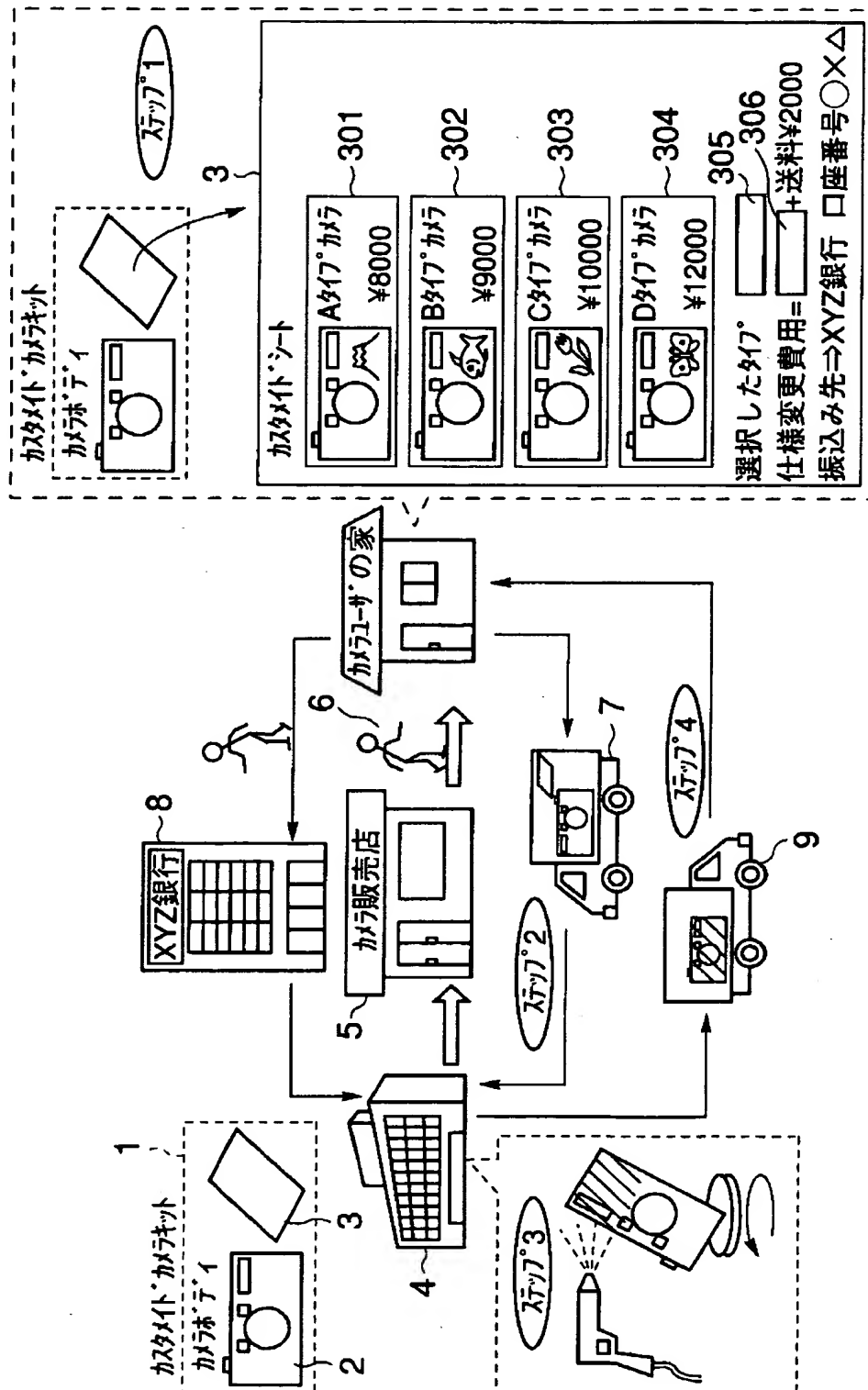
- 1 …パッケージ（カスタメイドカメラキット：製品及びシート）、
- 2 …カメラボディ（カメラ：製品）、
- 3 …カスタメイドシート（情報作成シート）、
- 4 …製造メーカー、
- 5 …カメラ販売店、
- 6 …カメラユーザ、
- 7 …運送業者（回収トラック）、
- 8 …銀行（金融機関）、
- 9 …運送業者（配送トラック）、
- 1 1 …インターネット、
- 8 0 …カスタマイズカメラキット、
- 8 1 …カメラボディ、
- 8 2 …ユーザ登録カード、
- 8 3 …郵便（ポストカード等）、
- 2 0 0 …色タイプ項目群、
- 2 0 1 …色タイプ A ～ D （製品色項目）、

- 2 0 2 …塗装見本（製品色項目）、
- 2 0 4 …選択色タイプ（選択製品色項目）、
- 2 1 0 …模様タイプ項目群、
- 2 1 1 …印刷模様タイプ A ～ C （製品模様項目）、
- 2 1 2 …印刷模様絵柄（画像イメージ）、
- 2 1 3 …印刷模様絵柄情報（コード記録領域）、
- 2 1 4 …選択印刷模様タイプ（選択製品模様項目）、
- 2 2 0 …形状タイプ項目群、
- 2 2 1 …グリップ形状タイプ A ～ C 、
- 2 2 2 …グリップ形状（画像イメージ）、
- 2 2 3 …グリップ形状情報（コード記録領域）、
- 2 2 4 …選択形状タイプ（選択製品形状項目）、
- 2 3 0 …プログラムタイプ項目群、
- 2 3 1 …プログラム仕様タイプ A , B 、
- 2 3 2 …プログラム仕様情報（コード記録領域）、
- 2 3 3 …選択仕様タイプ（選択仕様項目）、
- 2 4 0 …仕様変更費用（費用項目）、
- 3 0 1 ～ 3 0 4 … A タイプ ～ D タイプ（製品項目）、
- 3 0 5 …選択タイプ（選択製品項目）、
- 3 0 6 …仕様変更費用（費用項目）。

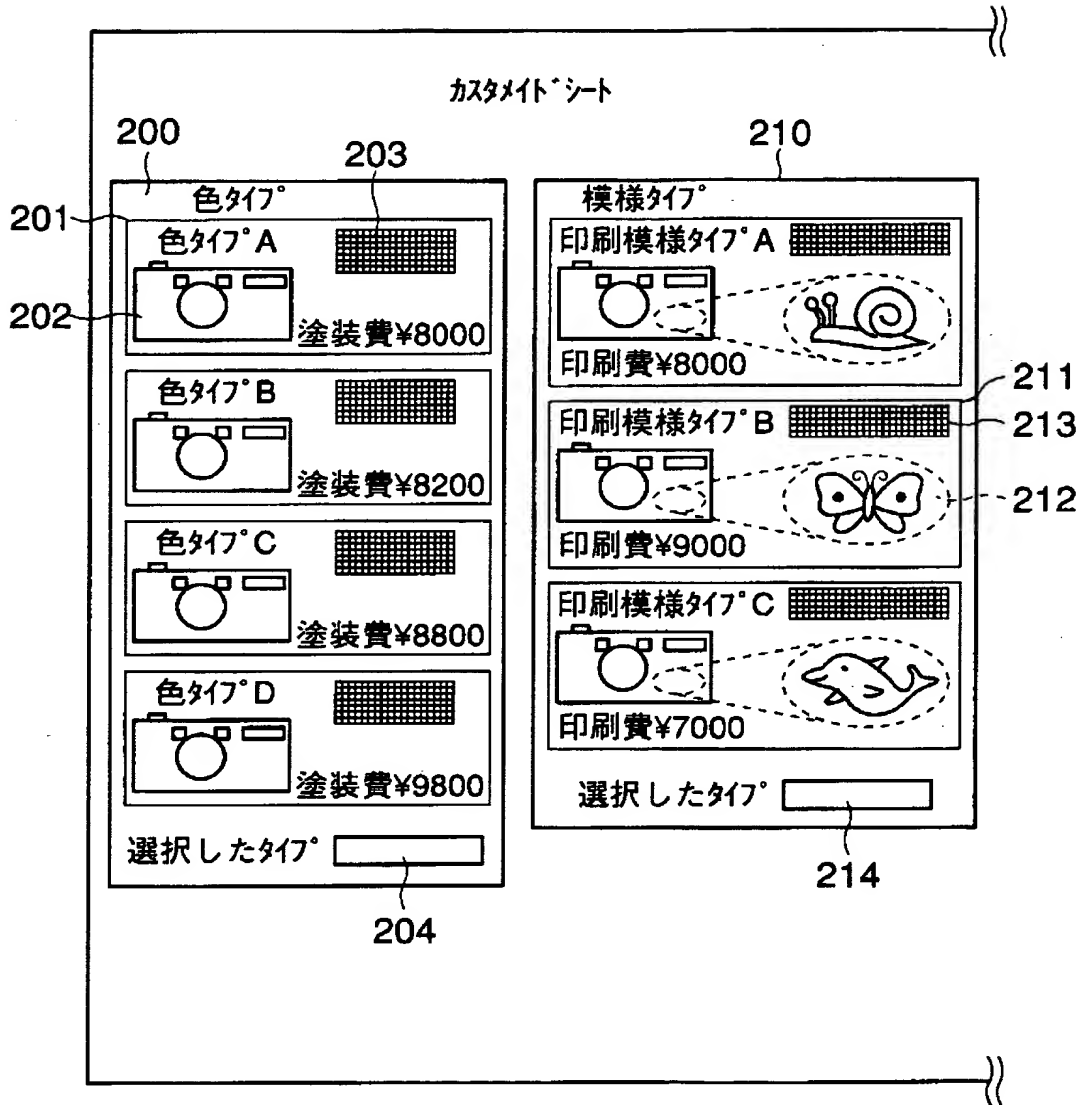
【書類名】

凶面

【図 1】



【図 2】




【図 3】

220
230
232
231


形状タイプ

クリップ形状
タイプA




加工費¥8000

クリップ形状
タイプB



加工費¥9100

クリップ形状
タイプC



加工費¥9900

選択したタイプ

プログラムタイプ

プログラム仕様タイプA

測光方式= ☒ 中央重点測光 ☐ マルチパターン測光

測距方式= ☒ 中央1点測距 ☐ マルチパターン測距

ストロボ

制御方式= ☒ ストロボ充電優先 ☐ 撮影動作優先

プログラム仕様タイプB

測光方式= ☐ 中央重点測光 ☒ マルチパターン測光

測距方式= ☐ 中央1点測距 ☒ マルチパターン測距

ストロボ

制御方式= ☒ ストロボ充電優先 ☐ 撮影動作優先

プログラム仕様変更費用¥1000

選択したタイプ

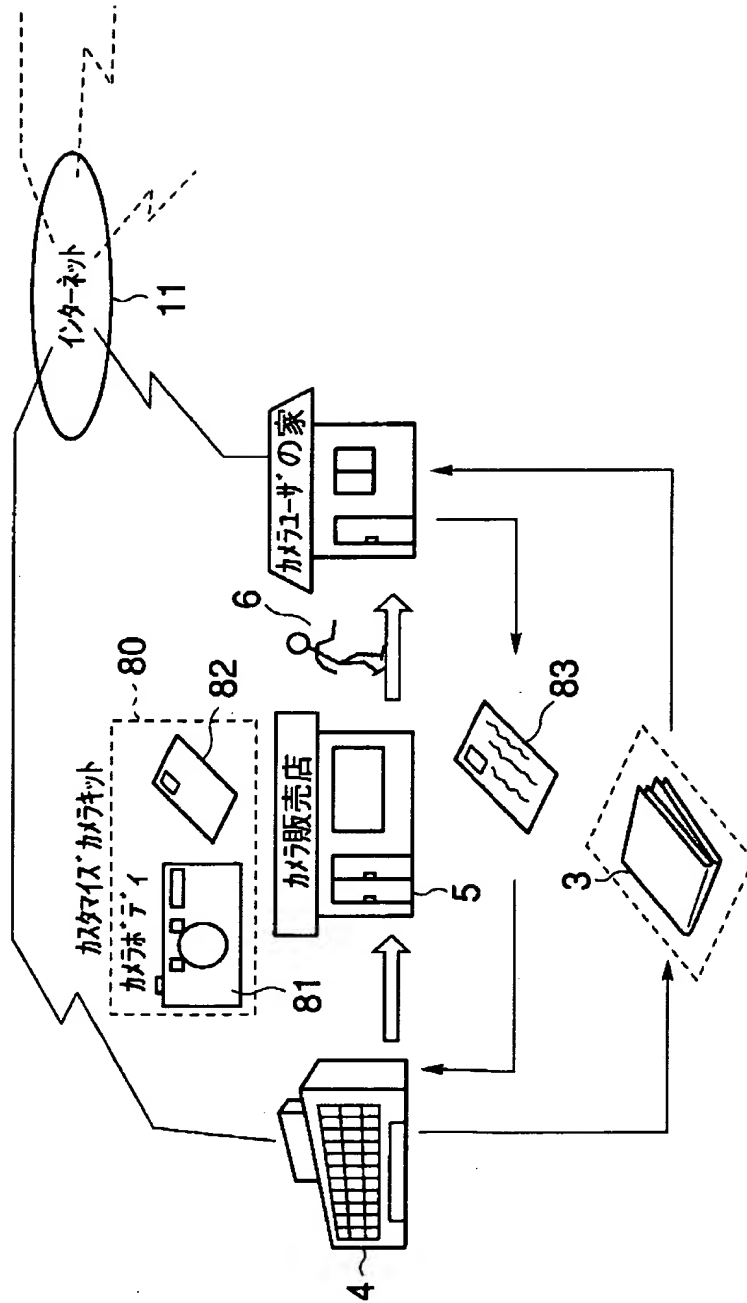
224
221

振込み先⇒XYZ銀行 口座番号○×△

仕様変更費用= +送料¥2000

240

【図 4】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 パーソナルコンピュータを所有していないユーザあるいは、パソコンの扱いが不慣れなユーザであっても、カメラなどの製品の仕様変更が簡単にできる製品仕様変更システムを提示すること。

【解決手段】 製品(カスタメイドカメラキット1)を購入することにより入手可能であって、この製品を所望の仕様に変更するための情報を作成する情報作成シート(カスタメイドシート3)に基づいて、ユーザ6がその製品の仕様変更に関する仕様変更情報を作成し、この仕様変更情報に基づいて製品機器(例えばカメラボディ2)の仕様を変更する製品仕様変更システムを提案する。

【選択図】 図1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000000376]

1. 変更年月日 1990年 8月20日
[変更理由] 新規登録
住 所 東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目43番2号
氏 名 オリンパス光学工業株式会社